

タイトル『永遠についての言正日月』

著者：岩井圭也

出版社：角川書店

とある大学から一冊のノートが見つかった。

それは六年前に~~七~~^七くつった天才三つ矢目奈司

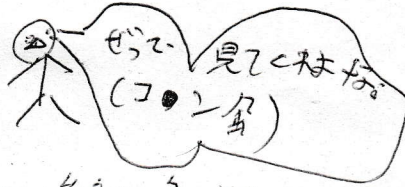
の石研究ノートだった。三つ矢目奈司は生前
ムーシャムの一般化、ラッツ予想の肯定白言証
明ができた正に二十世紀のガロアである

(しかし、三つ矢にはある~~り~~過去が恩師であった
小沼先生を段々~~と~~離れていき、三矢は段々と大い

はたして天才不可があったのか? 気になったおもしろい内容になりかけた

ぜひ読んでみてください

(言正明の部)



$Dogear \circ P_s \subset n \langle \nabla \rangle \int L u(\rho) \cdot b_2 = c \text{ series } \dots$
 $\dots \frac{1}{8} \times \dots \dots \dots$

投稿日 令和元年5月23日

ペンネーム (本名は書かないでね!)	年齢
○△ □×	13